




## 吉川八幡宮本殿



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	よしかわはちまんぐうほんでん
所在地	吉備中央町吉川
指定年月日	大正14年4月24日
解説	室町時代初期の応永2年(1395)再建時の棟札があるが、組み物や墓股などの特徴から、室町時代後期の建造とみられる。正徳年間(1711～1715)に大修理が行われ、平成8年度にも修理工事が行われた。単層、入母屋造り、檜皮葺き。桁行5間、梁間3間。軒は二軒繁垂木、組物は唐様の出組、柱間には室町後期の特徴を持った墓股を配す。本殿の前には、切妻造りの拝殿を丁字形につないだ特殊な形態になっている。檜の茂る社叢の中に、素朴でありながら、格調高い建物として建っている。
アクセス方法	賀陽ICから車で約20分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ  障害者用駐車場 
備考	